

二〇一三年度若手研究者支援シンポジウム

災厄とトラウマ

2014年3月29日 文学部A棟学生ホール
午後1時～

三村昌司(東京未来大学)

安政地震と被災者の受容

唐顥芸(関西学院大学)

二・二八事件をどう語るか

田村容子(福井大学)

中華人民共和国における革命と女性の叙事

小笠原淳(熊本学園大学)

植民地台湾の傷痕——坂口禰子の「時計草」と「蕃地」を読む

田中剛(神戸大学)

中国・内モンゴル近代史の語り——対日協力と対日抵抗の間で——

四方俊祐(神戸大学)

冷戦初期の米国政府の華僑認識

雑賀忠宏(神戸大学)

「記憶する・想起させるメディア」としてのマンガ／コミックス

問い合わせ先 濱田麻矢研究室
hamadama@gmail.com